

ディスポーザ排水処理システム「キッチンカラット」を設置するにあたって(1/2) ※添付します「設置前の確認事項」も合わせてご確認ください

《 重要説明事項 》

ディスポーザの設置にあたっては、社団法人日本下水道協会の「下水道のためのディスポーザ排水処理システム性能基準(案)」の「適合評価」を受けている商品のみを設置許可しており、その際には

①自治体への設置申請

②年1回以上の維持管理点検

が義務付けられております。

※「キッチンカラット」は「適合評価認定商品」です。



【①設置申請について】

・設置申請とは

設置申請につきましては、ほとんどの自治体が排水設備指定業者様からの届出が必要となっており、御社の物件に入ります排水設備指定業者様を介して、設置申請していただく事となります。

(設置要綱及び必要な申請書類については弊社にて確認いたします)

【②維持管理点検について】

・維持管理契約方法

事前に、お客様とメーカーにて契約締結させていただきます。

※自治体への設置申請時に、「契約書の写し」が必要になります

※状況により、契約締結の方法が変わることがあります。



・維持管理点検内容

点検内容: 機器(粉碎機、処理機、接続ホース)点検清掃

点検費用: 7,000円(税別) / 年1回

※本点検では、「機器の故障を回避する」ことが出来ない場合がございます



【消耗部品について】

・セルロースチップ(繊維質の乾燥補助材)は、消耗部品ですので保証期間内であっても有償となります。

※ご購入に関しましては、機器に記載あります「お客様サポートセンター」へご連絡ください。

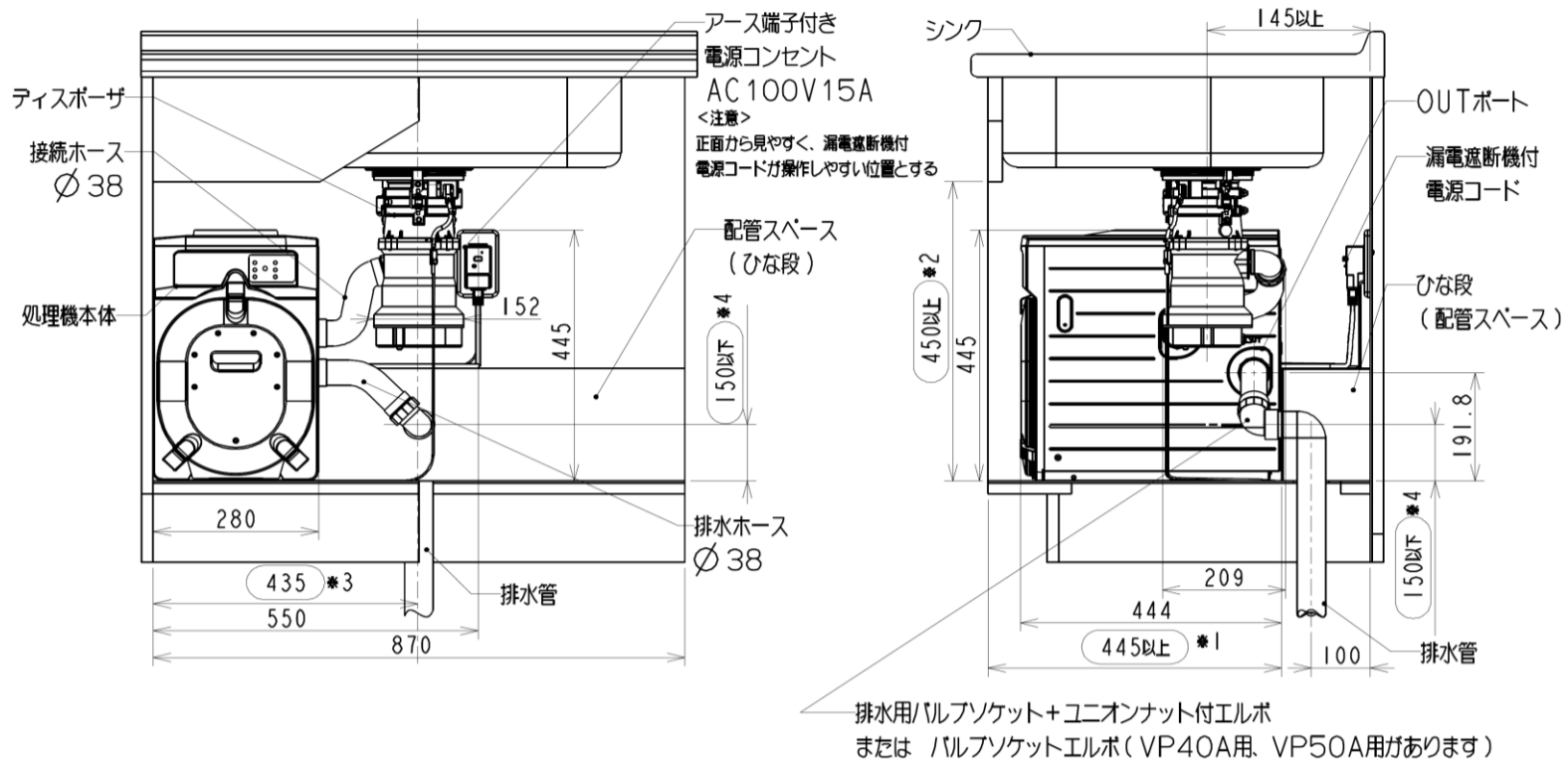
※1袋 900円(税別) / 送料別途

ディスポーザ排水処理システム「キッチンラット」を設置するにあたって (2/2)
 ※添付します「重要説明事項」も合わせてご確認ください

《 設置前確認事項 》

①設置スペースの確認(下記、図面は900キャビネットで左に処理機を置いたイメージ図です)

弊社でもキッチンへの収まりを確認いたしますので、キッチン図面を送付いただきますようお願いいたします



[設置条件]排水口を中心に処理機本体は左右どちらでも設置可能

1. ステンレスシンクのみ取付可 (設置不可⇒人造大理石、ホーローシンク、ダブルシンク、洗剤ポケット付きシンク)
2. 排水口径は、呼び径φ180のみ標準取付可 (φ185の場合は要相談、それ以外は取付不可)
3. キャビネットの内寸法で 奥行445mm以上(*1)、高さ450mm以上(*2)、幅=排水口センターより430mm以上(*3)
4. 排水管(立上げ)は、シンクキャビネット内床面より 150mm以下(*4)⇒標準では50mm (排水ホースの逆勾配を回避)
5. キャビネット内の他の設備(止水栓、水受けタンク、包丁差し、浄水器タンク等)との干渉に注意 ⇒【設置不可】
特に止水栓、浄水器タンクは、物件のお引き渡し後も手が届く位置への配置が必要
6. シンクキャビネット内に、『アース端子付き電源コンセント(AC100V 15A)』を1口以上用意
※「アース端子付電源コンセント」は、 ①処理機本体と干渉しない ②手の届く位置に設置

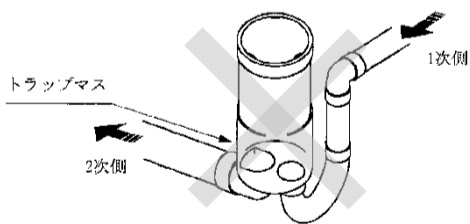
※感電事故防止のため、壁等に固定したアース端子付のコンセント(D種接地工事のもの)を必ず用意してください。

②屋外の排水マスの確認

◇本機器を取付けするには、本機器からの排水管を利用して屋外の排水マスから十分に排気できる必要があります。

そのため、排水マスがトラップ(封水が溜まる)構造の場合、排気を確保しないと本装置の使用ができません。
 ※集合物件も同様に、排気を確保しないと本装置の使用ができません

× 設置できない排水マスの例



左図のような排水マス(1次側)の場合、1次側に点検口がないため、トラップの解消ができないため、排気できません。
 (但し、新たに排気管を別途施工することで設置は可能です。)

③リフォーム物件および既存住宅へ弊社商品を設置する際の注意点

以下の項目を弊社(または弊社指定業者)にて設置前に下見(現地調査)し、確認いたします。

- 本機器からの排水管を利用して屋外の排水マスから十分に排気できること
⇒本機器を設置する前に必ず既設の排水管を全て高圧洗浄を行ってください
排水管の詰まりがあると不具合(排気不良、水捌けが悪い等)の原因となります。(設置時に問題がなくても直後に不具合が生じるケースもあります)
- 設置スペースが確保できるかの確認
⇒キッチン入替を伴う、リフォーム物件の場合には、キッチン図面にて収まりを確認いたします
- アース端子付電源コンセントが確保できるかの確認
⇒キッチン入替を伴う、リフォーム物件の場合には、現場手配にてアース端子付電源コンセントを設けてください